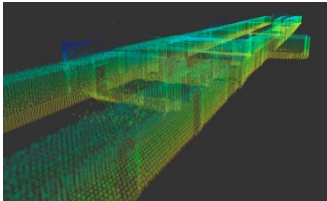


【資料1】 機能詳細

3D LIDAR

独自の3D LIDARを搭載。環境の三次元モデリング、移動物体や歩行者の発見、日常と異なる環境の変化を自動的に検出します。人間や固定カメラなどでは難しい夜間や暗部、死角となる部位のセンシングも可能です。



360°Camera

周囲 360 度を撮影可能なカメラを搭載。警備拠点の遠隔モニターによりロボット周辺をリアルタイムで監視することが可能です。



Microphone

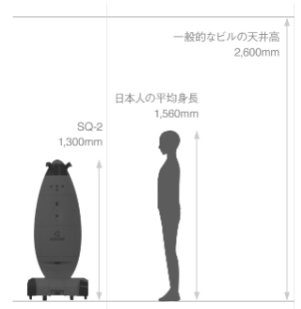
マイクとスピーカーを搭載。ロボットの警備マークに手をかざすと、警備拠点と繋がり警備員と通話することができます。

Thermal Camera

人間の目では難しい、火災等のリスクとなる異常熱源を感知することが可能となります。

Auto Charging

自動充電機能を搭載。バッテリー残量が減少した場合、自動的に充電ステーションに帰還し充電します。充電のオペレーションは一切不要です。



重量	65kg
寸法	1295.3 × 510 × 506 mm
稼働時間	最大10時間（実稼働6時間）
充電時間	フル充電90分（実務上は45分）
走行速度	秒速40cm（時速1.4km）

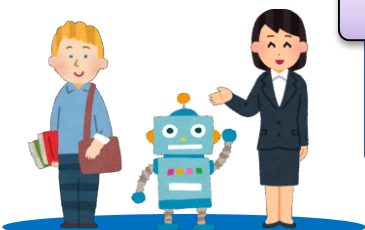
【資料2】 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたロボット導入の取組

成田空港では現在、最先端ロボットの活用による業務の自動化・省力化の取組を進めています。空港をフィールドとしたロボットの更なる活躍にご期待ください！



【第5弾】（2020年夏予定）

インタラクティブなインターフェースを持つ案内ロボットの導入



【第4弾】（2020年春予定）

多言語情報発信を行うサインージロボットの導入

【第3弾】（2020年2月～）

警備ロボット「SQ-2」の導入

今回導入！



【第2弾】（2019年11月～運用中）

清掃ロボット「Neo」及び「MB-CL02」の導入



【第1弾】（2019年6月～運用中）

警備ロボット「セコムX2」

ターミナル内の巡回・立哨警備に導入（計4台体制）



上記第4弾及び第5弾の取組は現時点での予定であり、導入時期が変更または中止となる場合があります。